

# 樽前山

## 1 概況（平成 14 年 7 月）

今期間、顕著な地震増加などは見られませんでした。1996 年以降地震活動が活発化しており、A 火口をはじめドーム周辺では熱的活動が活発な状態となっていることから、火山活動の推移に注意が必要です。

## 2 噴煙活動の状況

B 噴気孔群の噴煙は 4 月以前と比べてやや多い状態（高さは 50～100m）が続いています。A 火口は平常のレベルで推移し、E 火口の噴煙は観測されませんでした。

## 3 地震活動の状況

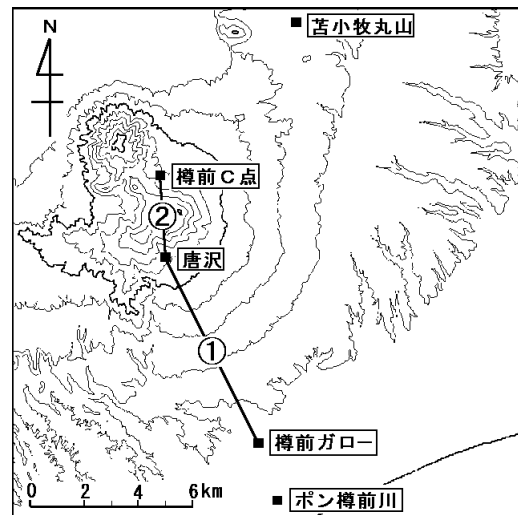
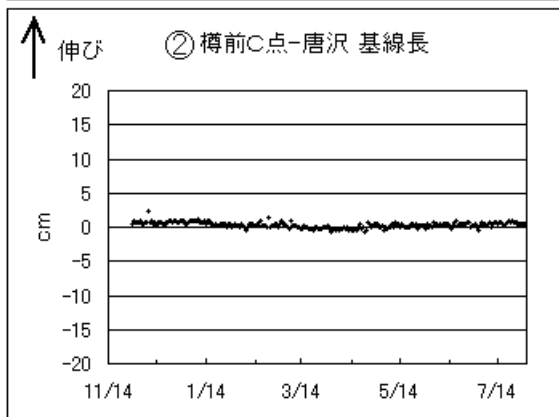
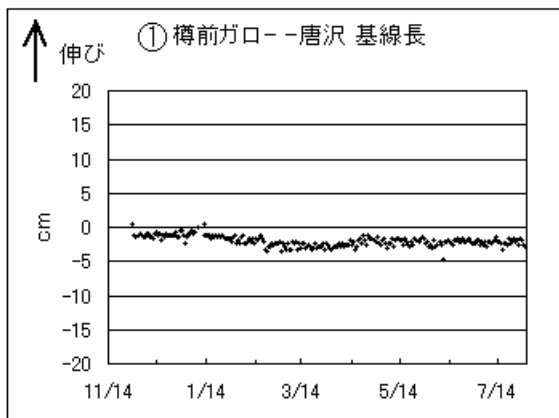
顕著な地震の増加はなく、1 日あたり 0～8 回で推移しました。震源は従来と変わらず山頂火口原の浅いところと推定されます。

月別地震・微動回数（C 点）

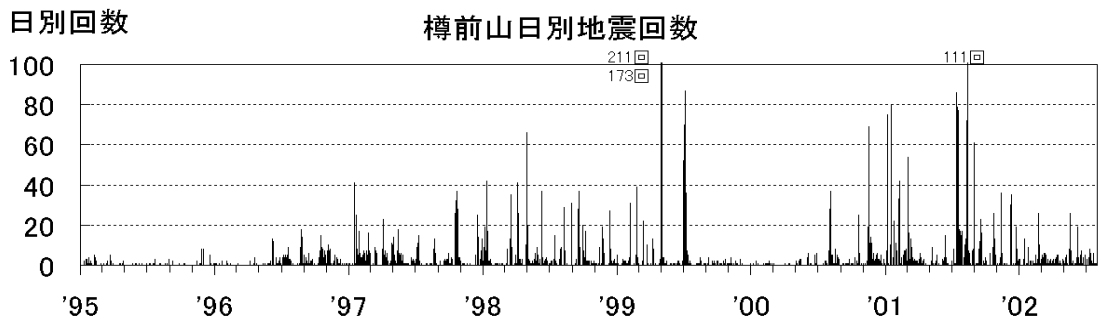
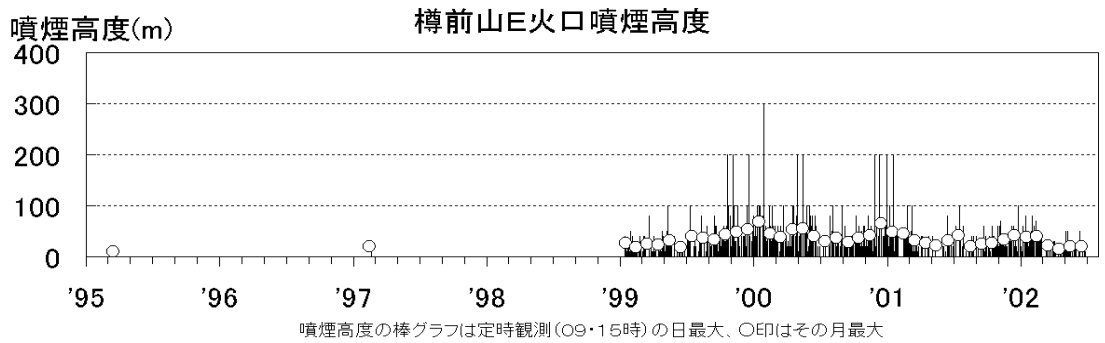
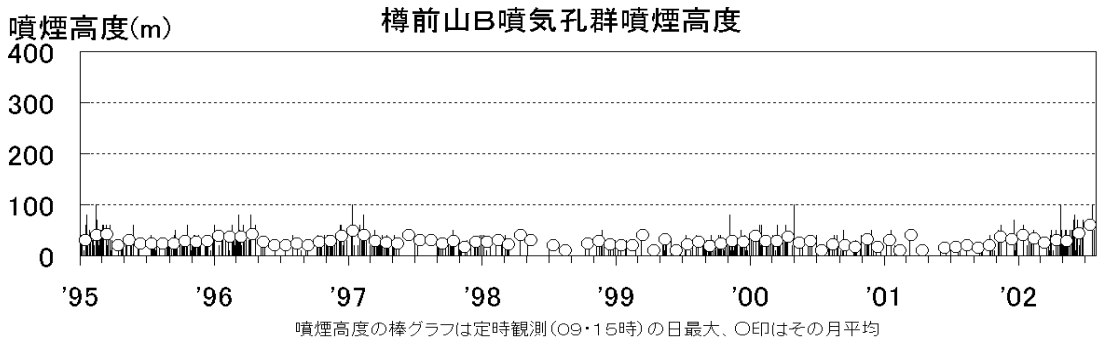
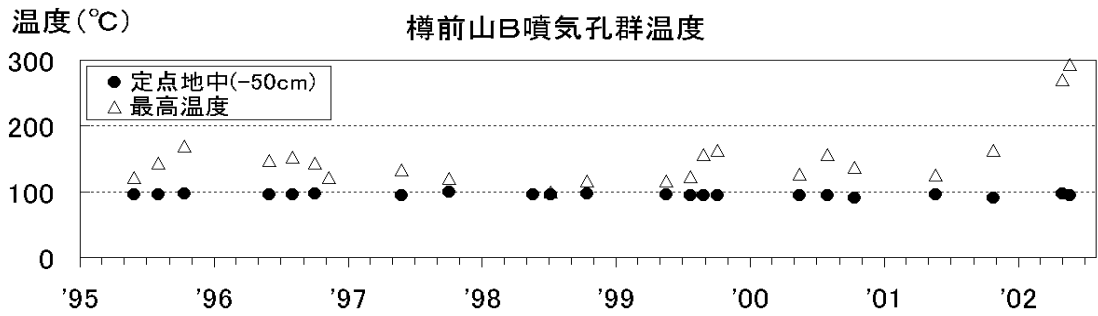
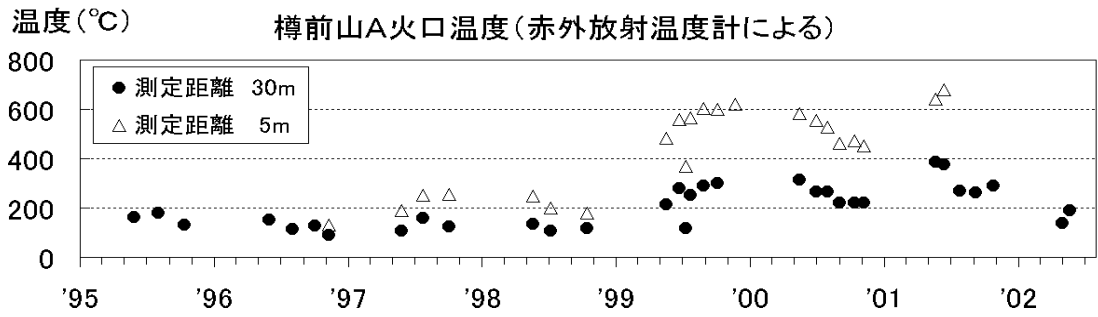
平成 13～14 年	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
地震回数	372	107	101	56	108	53	65	61	41	99	75	51
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 4 地殻変動の状況

G P S 観測では、火山活動に起因すると考えられる特別な変化はありませんでした。また、7 月 2～4 日、気象研究所と道立地質研究所が、山頂部の G P S 繰り返し観測を行いました。昨年 11 月のデータと比較して有意な変化はありませんでした。



樽前山基線長グラフ（2000 年 11 月 14 日～2002 年 7 月 31 日）



樽前山火山活動経過図(1995年1月1日~2002年7月31日)